

# runn開発者会議福岡2024

PHPカンファレンス福岡2024 / LTアワー May 22, 2024.

v0.0.8

@katzumi(かつみ)

Press Space for next page →



# 自己紹介

katzumi (かつみ) と申します。

「障害のない社会をつくる」をビジョンに掲げている「りたりこ」という会社に所属しています

LITALICO  
LITALICO

以下のアカウントで活動しています。



X katzchum




 k2tzumi // katzumi


# runn開発者会議とは？

runn とは API シナリオテストツールの OSS です。その OSS の開発者会議となります


PHPerKaigi2023 から始まるカンファレンスの廊下で繰り広げられるオフラインによる議論の場です。






**Takuto Wada**  
@t\_wada · Follow



本日の技術顧問業、「技術カンファレンスへ参加するときに大事にしたいのは廊下（自然発生的に起こるインフォーマルなオフライン議論の場）だ」という話をした

5:04 PM · Oct 17, 2019 

---

 203  Reply  Copy link

[Read 1 reply](#)

runn という API シナリオテストツールの開発者である @k1Low さんと私 @k2tzumi がツールの開発の方向性等を熱く議論しています

# runn開発者会議の歴史

今回は 6 回目

1. PHPerKaigi2023
2. PHPカンファレンス福岡2023
3. Go Conference mini 2023 Winter IN KYOTO
4. PHPerKaigi2024
5. Go Conference 2024
6. PHPカンファレンス福岡2024

# runn開発者会議の歴史

今回は 6 回目

1. PHPerKaigi2023
2. PHPカンファレンス福岡2023
3. Go Conference mini 2023 Winter IN KYOTO
4. PHPerKaigi2024
5. Go Conference 2024
6. PHPカンファレンス福岡2024

# runnを取り巻く状況

1. 精力的なバージョンアップ
2. コントリビューター拡大
3. GitHub Start 数増加
4. メディア&ブログ掲載拡大
5. ライブラリとして採用され始める

# 精力的なバージョンアップ

v0.72.0 → v0.113.2

カンファレンス駆動開発にも支えられています



**katzchum**  
@katzchum · Follow

runnのHttpRunnerがCookieをサポートしました🎉  
提案頂いた @Bknkbot さんありがとうございました！

New Release v0.77.0

## v0.77.0

What's Changed

New Features 🎉

- Append use cookie option by @k2tzumi in #55...

3 Contributors

github.com  
Release v0.77.0 · k1LoV/runn  
What's Changed New Features 🎉 Append use cookie option by @k2tzumi in #559 Other Changes fix typo by @okazaki-kk in #566 ...

5:21 PM · Jul 23, 2023

👍 14    💬 Reply    🔗 Copy link

[Read more on X](#)

# コントリビューター拡大

いつもありがとうございます！

新たに5名のコントリビューターが増えました。

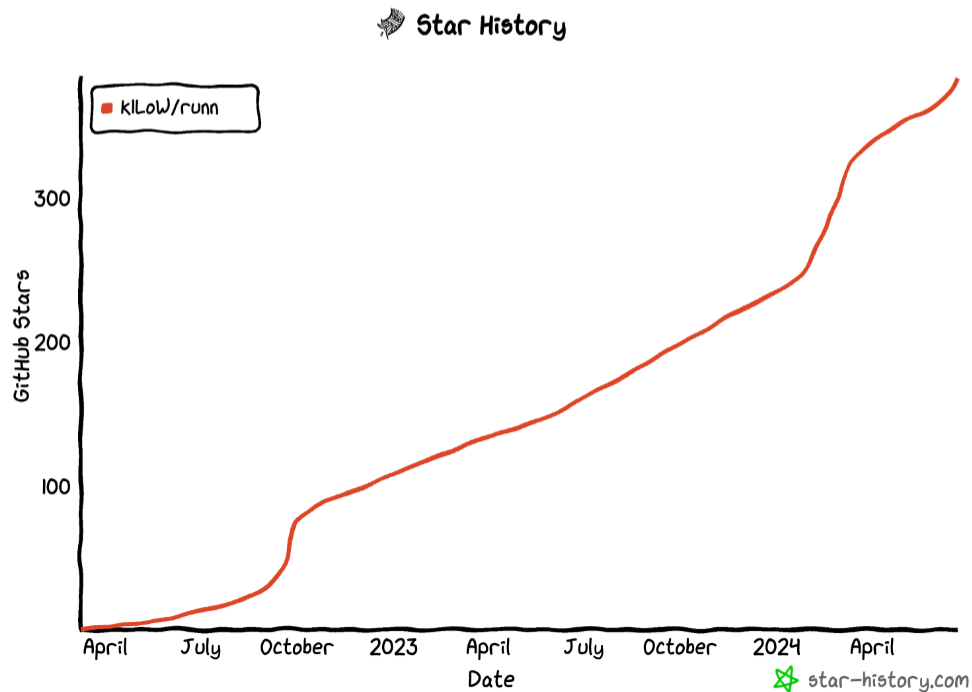
特に積極的に機能追加していただいている HaRu さんありがとうございます！



# GitHub Start数増加

3倍ぐらいに増えた

100 ちょっと → 384



# メディア & ブログ掲載拡大

色々取り上げていただきありがとうございます！

- APIテストツール4選！開発者が語る各ツールの特徴と魅力  
runnm, Scenarigo, Karate, Postman の開発者が集まるという貴重な会でした
- yamlでテストシナリオを書いてそのまま実行までできるAPIテストツールの新星“runn”を試してみた  
クラスメソッドさんに取り上げられて一気に認知が広まった感
- CI/CD Test Night #7  
開発者2人が同じイベントに呼ばれるというありがたいお話を頂きました

# ライブラリとして採用され始める

幅広いアプリケーションに組み込まれていました



**k1LoW**  
@k1LoW · Follow

runnが最初のバックエンドに選ばれたの、本当に光栄です。スライド中に動画リンクもあるので見たら衝撃。

flowing 発表資料 @技育展2023 | Yuta Ikeoku #docswell



docswell.com  
flowing 発表資料 @技育展2023 | ドクセル  
yuta-ikeのflowing 発表資料 @技育展2023をドクセルで読んでみよう

9:43 PM · Oct 3, 2023

48 Reply Copy link

Read 1 reply

# ライブラリとして採用され始める

幅広いアプリケーションに組み込まれていました



**Arthur**  [@Arthur1\\_](#) · [Follow](#)

mackerunn（runnの実行結果をMackerelにいい感じに送るツール）のOpenTelemetry版が作りたくてotel-collectorのrunn Receiverを作ってみた。今成功/失敗しか返してないのでもう少し頑張る

**Arthur1/opentelemetry-collector-arthur1**

The collection of OpenTelemetry collector components created by Arthur1.



 3 Contributors  1 Issue  1 Star  0 Forks

github.com  
GitHub - Arthur1/opentelemetry-collector-arthur1: The collection of O...  
The collection of OpenTelemetry collector components created by Arthur1. - Arthur1/opentelemetry-collector-arthur1

8:15 AM · Mar 2, 2024

 1  Reply  Copy link

[Read more on X](#)

# 本を執筆しました

一人アドベントカレンダーから爆誕



**k1LoW**  
@k1LoW · Follow

2023年 @katzchum による狂気の1人アドベントカレンダーの結果生まれた runnチュートリアルがZenn bookに生まれ変わった！（CHAPTERが増えたとか）  
今なら無料！



zenn.dev  
runnチュートリアル  
APIシナリオテストツールでもある runn の使い方をステップバイステップで理解していくチュートリアルをまとめたZenn bookです

12:05 AM · Feb 18, 2024

24 Reply Copy link

[Read more on X](#)

# 注目機能 & 改善 (1/3)

- Add jq path syntax support for excluding comparison targets in diff()/compare() functions.  
diff 関数の比較対象を除外するパターンに jq コマンドのパス構文をサポートしました
- Support --env-file option for loading environment variables from a file.  
runn 実行時の環境変数をまとめて env ファイルで指定可能になりました
- Add exec.background: for executing commands in the background.  
コマンド実行時にバックグラウンド実行が可能となりました
- Replace the buildTree() method by injected expr tracing approach  
yaml フォーマット内の評価式のコメント構文で # が使えなくなりました  
// をご利用ください
- Add dump.disableTrailingNewline: for disabling trailing newline in dump output  
dump runner 実行時に最後の文字列に改行コードをつけるようにしました。  
オプションで以前の挙動に戻すこともできます

## 注目機能 & 改善 (2/3)

- Use github.com/pb33f/libopenapi  
OpenAPI の validator を行うライブラリを pb33f に変更しました
- Add builtin functions for ID generation to faker.\*  
faker で UUID を生成するビルトイン関数が増えました
- Add --attach option for debugging or step execution  
ステップ実行がサポートされました
- Support gist://  
gist として登録された runn ブックを直接実行できるようになりました
- Keep loaded OpenAPI documents  
OpenAPI の仕様書をキャッシュするようにしてパフォーマンス改善しました
- Support using YAML's anchors and aliases in runbooks  
run ブックの yaml フォーマットで anchor 指定が可能になりました

# 注目機能 & 改善 (3/3)

- Introduce pick() expr built-in function

ビルトイン関数に pick が追加されました。json のノードを一部のみにできます

- Introduce omit() expr built-in function

ビルトイン関数に omit が追加されました。json のノードを省略できます

- Add runbook ID (Full) and elapsed time to result.json

シナリオ実行時にユニークな ID を降るようになりました

- Support labels: section in runbooks

ラベル指定して実行対象の絞り込みができるようになりました

- Add header for trace

リクエストにトレース用のヘッダーを付与できます

- Append use cookie option

Cookie をサポートしました



# 議題

今回の主に話をしたいこと(runn開発者会議スレッドより抜粋)

- 2024年中にはv1にしたい
- 失敗したシナリオを一覧表示したい
- ランブック単位でのクリーンアップ処理
- シナリオテスト自体をドキュメント化したい
- Property based testingをしたい

# 最後に

絶賛募集中です

**We're contributing.**

ご清聴ありがとうございました